

建築用アンカーボルトメーカー協議会

第 79 回全体協議会議事録

1.開催の日時及び会場

日時 : 令和 7 年 3 月 28 日 (金)

会場 : ANA クラウンプラザホテル神戸

神戸市中央区北野町 1 丁目 1 番地

2.会員数及び出席者数

(1) 会員数 40 社

(2) 出席数 34 社 (内委任状 6 社)

3.議事

(1) 開会

事務局大津氏(大津鉄工)より、建築用アンカーボルトメーカー協議会全体協議会を開会する旨宣せられた。

(2) 定足数の報告

事務局より、本日現在同協議会会員数 39 社、本日の協議会出席数 40 社、6 社が欠席、欠席 6 社より事前に委任状を受理していることから、議決権 40 票となり本全体協議会の議決は有効である旨報告がなされた。

(3) 議長の選出

事務局大津氏より、橋本副会長(コベフオージ)を議長にしたいとの提案があり、全員異議なく賛成し、同氏が議長に選出された。

(4) 議事録署名人の選任

議長は、同協議会の議事録署名人の選任について、監事浜野氏(コンドーテック)を推薦し、議場に諮り承認を得て選任された。

天雲会長あいさつ

今回は、協議会設立25周年の記念式典として神戸で開催されることになりました。ここ神戸は「本協議会設立の原点」となった場所でもあります。ご承知のように、1995年1月の阪神大震災で構造物の倒壊や火災で、多くの尊い人命が失われました。それを教訓にして、2000年6月、耐震アンカーボルトの規格ABR・ABMが制定されました。

その耐震アンカーボルトの普及を目的に2000年12月に本協議会が設立されて、早や25年が経過した事になります。今日、この場所で、皆さん一人一人がもう一度、「協議会設立の原点」に立ち戻って、耐震アンカーボルトの更なる普及に努力し、社会に貢献することを目指していただきたいと思います。

以前にもお話した事がありますが、私自身も阪神大震災を経験しています。

私が被災したわけではありませんが、親戚が神戸方面に住んでいて、震災で連絡が取れない状態になり、震災翌日にバイクで神戸に向かいました。大阪から武庫川まではいつもの風景でしたが、武庫川を越えて神戸の町に入ると景色がガラリと変わり、多くの建物が倒壊していました。

皆さんも、高速道路が崩壊してかろうじて残った部分にバスが半分落ちかけになっている場面をテレビで見た事があることと思います。実際にその道路の横を通って、半分落ちかけのバスを見ながら、親戚宅に向かいました。

結局、親戚は幸いにも無事でした。その時に、一番感じた事は、大阪では普段通りに仕事をしたり、コタツに入ってテレビで阪神大震災のニュースを見ているのに、一方、神戸では建物が倒壊して生死をさまよっている人が多くいたという事実でした。

20kmも離れていない大阪と神戸で、こんなにもギャップがあり、大阪では何も出来ないこと自体に非常にショックを受けました。

さて、今後30年以内に、南海トラフ巨大地震が起こる確率が80%程度と予想されています。先程、「協議会設立の原点」という言葉を申し上げましたが、我々協議会は、「リメンバー神戸」という思いを胸に、耐震アンカーボルトの更なる普及に努め、建物の倒壊を防ぐべく努力していかねばなりません。

最後に、本日もみなさんの貴重な少ない時間の中ですが、私たちの業界ならびに協議会発展のために、積極的なご意見・ご発言をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

議 案

1 号議案 令和 6 年度収支報告が原案通り承認

2 号議案 令和 7 年予算案が原案通り承認

3 号議案 役員改選の件

任期満了に伴う役員改選は天雲会長はじめ全役員留任にて承認
(監事のみコンドーテック浜野様からコンドーテック村上様へ交代)

4 号議案 二世会(若手会)設立の件を承認

次世代を担う経営者・後継者が親睦を深め、経営の諸問題を共に考えながら、親会の歴史や経験を学び、さらなる発展を目指す。

当協議会の下部組織とし名称を「Second」とした。

(会則等詳細については別紙)

報告事項

1.令和 7 年度協議会開催日程報告

全体協議会

第 80 回 7 月 11 日 (金) 東京

第 81 回 11 月 21 日 (金) 大阪

第 82 回 R8 年 3 月 27 日 (金) 東京

理事会

6 月 20 日 (金) 大阪

10 月 17 日 (金) 東京

R8 年 2 月 20 日 (金) 大阪

2. 広報グループ活動報告

フルサト工業の田中様よりホームページのアクセス状況について、2024 年 10 月～同年 12 月の 3 ヶ月間で 25883 件の閲覧で前年同月比 98.4%。国別では日本 68%アメリカ 12% 中国 4%とその他。HP の内容については JIS 規格等について 58%。

3. マーケティンググループ活動報告

浜中ナット販売の畑尾様より製造実績報告(詳細は別紙にて)2024 年 1 月～12 月の 1 年間の合計重量は 7.474 トン昨年対比 89%。参考資料として過去 15 年間(2010 年～2024 年)の年間合計製造重量も報告され 2024 年は最低重量となった。

4. 教育研修グループ活動報告

山陽ネジ製作所の村瀧さんより 2025 年度の活動予定について昨年、一昨年に続き品管及び製造責任者交流会を予定している、詳細を青戸製作所の小澤常務より例年通り秋頃の開催予定でエノモト工業さんより内諾済みと報告された。

5 その他の報告

- ・青戸製作所の小澤社長より六角ボルト・ナット(JISB1180・1181)の改訂について。
 - ・フルサト工業の太田様よりアンカーボルト設計施工指針の改訂版発刊について。
- 以上の報告がされた。

以上にて本日の全体協議会を閉会した。

上記は建築用アンカーボルトメーカー協議会の議事に相違ないことを証するため、ここに議長及び議事録署名人が本議事録に署名、押印する。

令和7年4月

議 長 橋本 知 印

署名人 浜野 昇 印